

令和 8 年度 地域連携推進会議議事録

実施場所：グループホーム なごみ 娯楽室

実施日時：令和 8 年 5 月 28 日（木） 14 時 00 分～15 時 30 分

実施者：グループホーム施設管理者 門内裕子、グループホーム生活支援員 高瀬翔伍

出席者：自治会会長 1 名、たつの市役所地域福祉課 職員 1 名、利用者成年後見人
1 名、相談支援事業所 相談支援専門員 1 名、利用者 1 名

1、開会挨拶

管理者 門内より開会の挨拶を行う。

2、出席者紹介

出席者全員が自己紹介を行う。

3、グループホーム見学

たんぽぽ棟・なごみ棟の見学を行う。

- ・部屋の状況や娯楽室・台所・掃除当番等を説明する。
- ・各棟の家賃、外出ノート・健康チェック表の説明等を行う。
- ・利用者の娯楽室の様子を見て頂く。

4、会議進行

管理者 門内より以下の内容を説明する

● グループホーム事業報告

- ・入居者の人数、年齢構成。入退所者の報告等
- ・日中活動の状況、施設での感染・安全・倫理研修等の報告
- ・防災・安全訓練等の報告
- ・年間行事の報告

● ヒヤリハット報告

令和 7 年度に起ったヒヤリハットの件数とその内容（薬関係・転倒・入居者の関わり等）

● 令和 7 年度の取り組み

- ・ホームページの更新・揖保川病院や訪問看護への調整や会議の参加、積極的な施設見学の受け入れ
- ・利用者の高齢化に伴い、地域の稼働販売車を導入
- ・職員の人員確保

- グループホームの今後の課題
 - ・利用者の高齢化問題
 - ▶生活能力の低下による支援の介入・拡大
 - ▶キーパーソンの高齢化（家族の協力が得られにくいケースあり）
 - ・稼働率の低迷
 - 入所受け入れの条件や体験期間の見直し
 - ・精神障がい利用者のグループホーム特有の問題
 - ▶家族との関係性が脆弱
 - ▶障害年金のみが収入の利用者が多く、入院や自立に向けて等になった際の経済的な問題
- 利用者からのグループホームに対する意見・思いの発表
 - ・家族と疎遠になっており、自分で自立して生活しないといけない
 - ・グループホームに来てよかったことは、買い物など自由に行動できること等

5. 閉会挨拶

管理者 門内より閉会の挨拶を行う。

□ 質疑応答、意見等

- ・ 日中はどうされていますか。
→デイケアや作業療法、就労支援施設、障害者枠での就労等にいかれています。

- ・ デイケア、OT（作業療法）はどんなところですか
→デイケアは日常生活や社会復帰を目的とした通所型リハビリテーションの場です。レクリエーションやプログラムを通して生活リズムの改善や対人関係スキル向上等を目的としています。作業療法も日常生活や社会生活をよりよく送れるよう支援するリハビリテーションで個々に応じたアプローチを行っています。

- ・ ヒヤリハットについて薬関係・転倒が多いのですね
→薬については基本的には自己管理で服用時にスタッフが確認する形をとっています。その際に日付や朝・昼・夕・眠前などの時間帯の違う薬を持ってこられる等あります。転倒については歩行時のつまずきや自転車を利用している際等転倒がありました。

- ・ 生活能力の低下についての判断基準はどのようなものですか。
→基本的には個人のご様子を見て判断していきますが、65歳以上になると認知機能検査を行ったりしています。また普通食が難しくなる、階段の上り下りが難しくなってくる等は一つの判断基準となります。

- ・ 高齢者施設に退所される方もいるのですね。
→利用者の高齢化に伴い今後そういったケースが増えてくると思います。

- ・ 家族との連絡とりにくい方もいらっしゃるのですね。
→はい。ケースによっては後見人制度の利用なども検討していく必要があると感じています。連絡がとれない場合は病院への入院の際に困ることもあります。また連絡自体はとれる家族様であっても、これまでの入院歴や経緯等から家族の了解と言う部分でグループホームでの生活上の支援が難しい部分もあります。

- ・ グループホームの入所を希望する場合、どこに連絡すればよいでしょうか。
→直接当グループホーム連絡いただければ大丈夫です。